

かけはし

中国残留日本人支援 日本語教室 文化交流教室

コスモスの会だより 第2号 2012.9.15

発行責任者：宗景 正 〒661-0953 尼崎市東園田町4丁目152-16 TEL：06-6493-5563

団体名称変更 「コスモスの会」に

多くの市民の皆様は「コスモスの会」に入会し、活動を支えていただきたと願っております。会員の皆さまにはこの会報「かけはし」をお届けします。会費は年会費として、個人500円、団体2000円です。よろしくお願ひします。

日本語教室第3回学習発表会



「8びきのねこ」を演じる牡丹グループの学習者たち。

日本語教室では毎年3月に1年の集大成として学習発表会を行っています。3回目を迎えた今年も日本語習熟度で分けた3つのグループ毎に発表が行われました。日頃の学習成果を大いに発揮し、楽しい発表会になりました。最初は日本語が十分に話せない人の多い牡丹グループが『8びきのねこ』の寸劇を演

じました。全員がセリフを丸暗記するほど自宅でも猛練習し、勇敢な「ねこ」を演じました。次の梅グループは「ふるさと」をテーマに発表しました。スクリーンに発表者の幼少時や青年期の写真が映し出され、中国での厳しい生活状況や家族などの思い出を語りました。まさに当時にタイムスリップし、会場にいる多

努力の花開く 厳しい体験談も

くの人も同年代を生き抜いた自分の人生と重ね合わせながら聞きました。

最後にバラグループが柴田トヨさんの詩の朗読しました。練習では「間」を大切に、「声をはっきりと」「言葉」に心をこめてをモチーフに取り組み、当日は情感たっぷり表現しました。

全体を通して勇気を出して発表することが自信となり、会話が著実に身につけてきたようです。

「コスモスの会」の花に思いをこめて 「あの花はメキシコが故郷なんだそうだし。でもそんなことはどうでもいい。秋桜はもう、大切な大切な日本の花だ。お前も秋桜になるんだよ。」と、東北に嫁にきたフィリピン人アレーナにこれまでつらくあたってきたが、庭に咲くコスモスを見ながら言う。さたまさし著「秋桜(あきぎく)」のラストシーンである。



尼崎市の名所となった武庫川河川敷コスモス畑 (市HPより)

戦中戦後の混乱の中で祖国へ帰ることができず、やっと日本の土を踏んだ

「コスモスの会」の活動がその名にふさわしく、真の意味で帰国者にとつて、日本への「かけはし」となります。

スタッフの横顔

スタッフ26人で運営している日本語教室ですが、今回は、もし朗読劇「わたしたちにじんですか」を観なかったらここにいないだろうという越智徹さんに話を伺いました。

Q 日本語教室に参加されたのはいつからですか？
A 4年前、08年7月に見学を兼ねて初めて参加しました。きっかけは、残留孤児たち自身が演じた朗読劇「わたしたちはなにじんですか」に出会ったことです。彼らにあまりにも過酷な人生にただ茫然としました。

Q その頃の学習支援は？
A ボランティアのメンバーを含め「自分を語る」とそのためのコミニケーションを大切にしたいと思いました。まだ学習者一人ひとりの生活や切実な要求がよくわかっていなかったのですが、4年間の活動を通して変化はありましたか？
A はじめは教材にこだわらず、学習者へ子供に教えるように接してきた自分に気づきました。最近の発見は、学習者と私は生

きて来た環境は違いますが、この国で生きていく社会人として、共通の現実の課題を持っていること、そして言葉の壁を乗り越えるために学習することの楽しさを感じることが出来るようになったことです。



中国家庭料理「焼餅」を帰国者といっしょに作りませんか。参加をお待ちしています。

とき：9月29日(土) 午後1時～4時
会場：尼崎市中央公民館 調理室
材料費：500円
会場と材料準備の都合がありますので9月25日までに申し込み下さい。

090-1953-5366 (松本まで)

頑張る二世たち

渡辺蓉子さん

ガイドヘルパー、手話も
バラグループの渡辺さんは中国残留孤児二世です。ヘルパーとして大阪の天満で4件の利用者を担当しています。

仕事内容は、掃除などの生活介助、買い物や通院の付き添い、学校へのお迎え、散歩の同伴などです。ガイドヘルパーの資格も持っているのですが、所属会社から、ろうあの子学生の支援も紹介され、やりがいを感じて



渡辺さんは時間節約のため仕事に行く時はバイクを使います。

しかし、依頼される仕事量が少なく、さらに介護保険法改定後は介護時間が短縮され、1日3時間しか働けないのが悩みです。

あんな話、こんな話

ある中国人留学生がお風呂屋さんで、「男湯・女湯」の文字を見て不思議そうにしていました。???



編集後記
9月1日発行をめざし、かけはし編集部は夏休みを返上して、記事のチェック、レイアウト作業と大忙しでした。ところが、教室風景の写真がありません。「しまった！カメラを持ってきてたのに、撮るのを忘れてた」の声。日本語教室は、夏休みです。写真は教室が始まってから撮ることにし、かけはし15日の発行も、少し遅れて15日の発行となりました。

まだまだ暑い日が続くようです。体調を崩さないよう気を付けましょう。